

図 6-12 関節制限_足関節

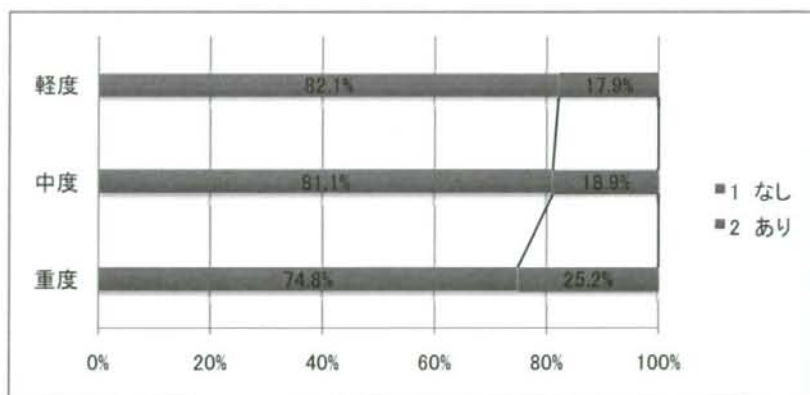


図 6-13 関節制限_その他

2) 移動等関連

要介護度区分別の移動等関連項目は、軽度と中度、中度と重度、軽度と重度のいずれの群間においても、有意差が見られた。

また、軽度から中度、中度から重度と、要介護度区分が重くなるにつれて、移動の自立度が低くなっていた。

表 6-11 要介護度区分別移動等関連項目の回答傾向

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
寝返り	1 つかまらなくてできる	72	58.5%	51	27.7%	22	13.5%	**	**	**
	2 何かにつかまればできる	51	41.5%	120	65.2%	62	38.0%			
	3 できない	0	0.0%	13	7.1%	79	48.5%			
起き上がり	1 つかまらなくてできる	32	26.0%	24	13.0%	8	4.9%	**	**	**
	2 何かにつかまればできる	88	71.5%	135	73.4%	49	29.9%			
	3 できない	3	2.4%	25	13.6%	107	65.2%			
座位保持	1 できる	83	67.5%	81	44.0%	24	14.7%	**	**	**
	2 自分の手で支えればできる	30	24.4%	70	38.0%	27	16.6%			
	3 支えてもらえばできる	10	8.1%	31	16.8%	77	47.2%			
	4 できない	0	0.0%	2	1.1%	35	21.5%			
両足立位保持	1 支えなしでできる	76	61.8%	66	35.9%	11	6.7%	**	**	**
	2 何か支えがあればできる	46	37.4%	107	58.2%	63	38.7%			
	3 できない	1	0.8%	11	6.0%	89	54.6%			
歩行	1 つかまらなくてできる	44	35.8%	42	22.6%	7	4.3%	**	**	**
	2 何かにつかまればできる	78	63.4%	112	60.9%	47	28.7%			
	3 できない	1	0.8%	30	16.3%	110	67.1%			
移乗	1 できる	89	72.4%	51	27.7%	9	5.5%	**	**	**
	2 見守り等	28	22.8%	72	39.1%	14	8.5%			
	3 一部介助	5	4.1%	54	29.3%	47	28.7%			
	4 全介助	1	0.8%	7	3.8%	94	57.3%			
移動	1 できる	72	58.5%	35	19.1%	8	4.9%	**	**	**
	2 見守り等	44	35.8%	67	36.6%	11	6.7%			
	3 一部介助	6	4.9%	68	37.2%	39	23.8%			
	4 全介助	1	0.8%	13	7.1%	106	64.6%			

** P<0.01 * P<0.05

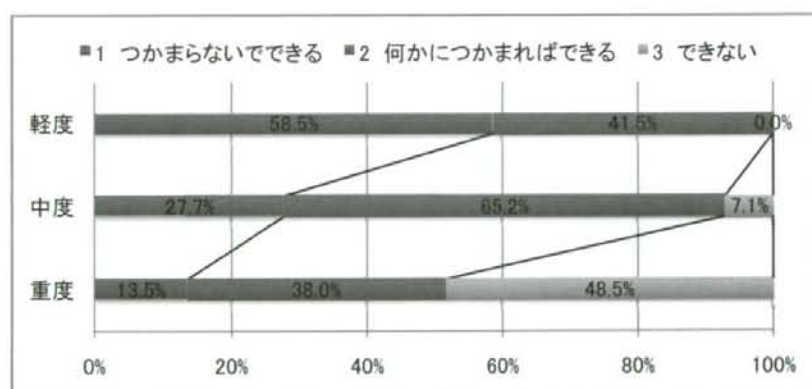


図 6-14 寝返り

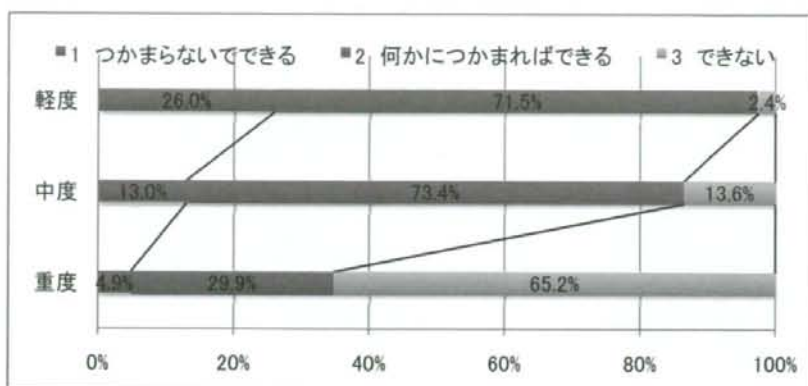


図 6-15 起き上がり

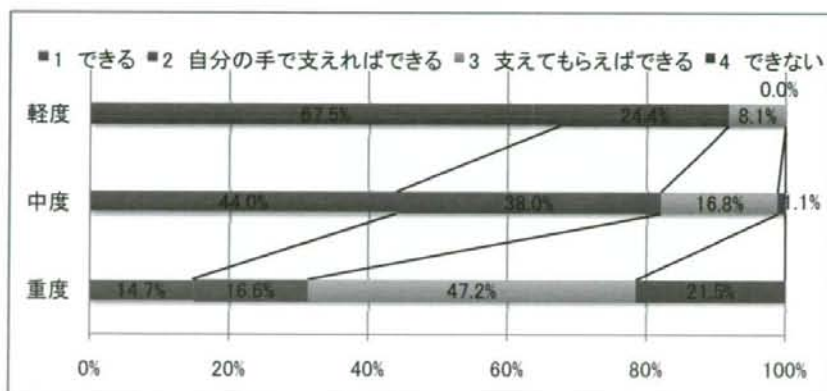


図 6-16 座位保持

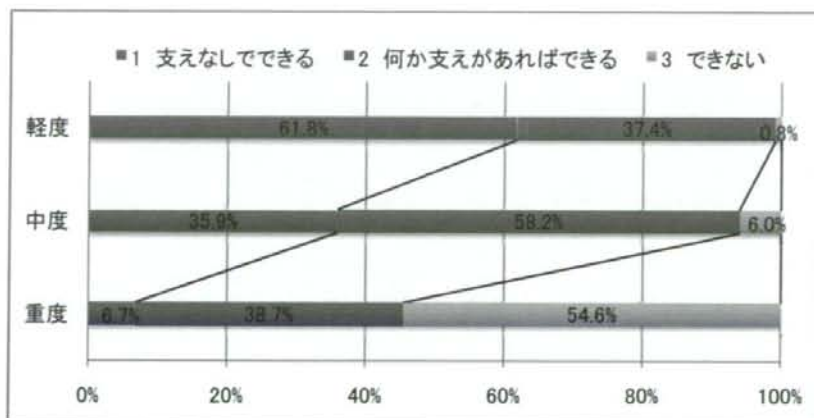


図 6-17 両足立位保持

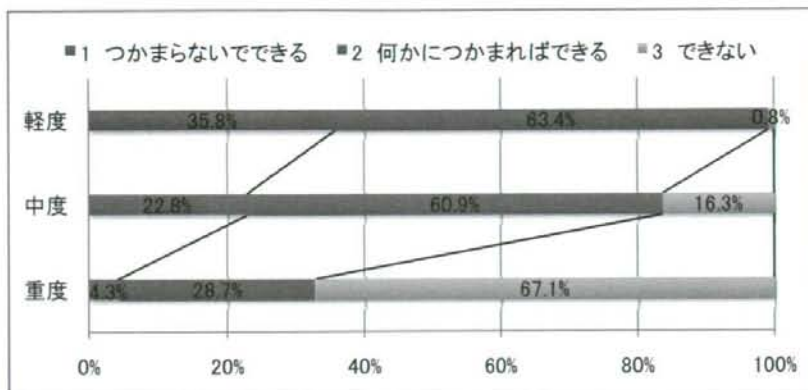


図 6-18 歩行

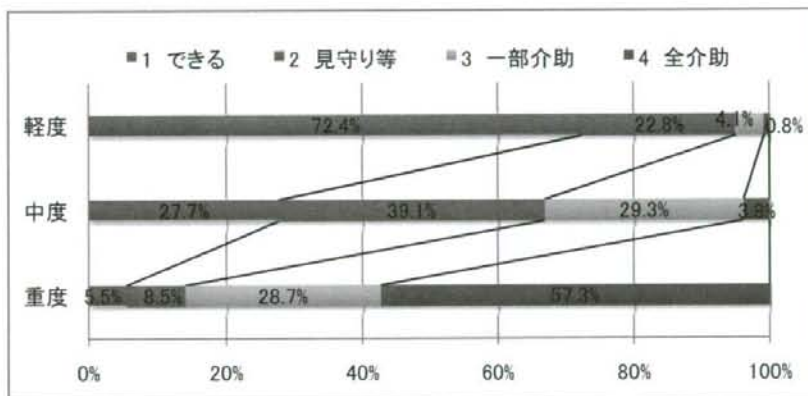


図 6-19 移乗

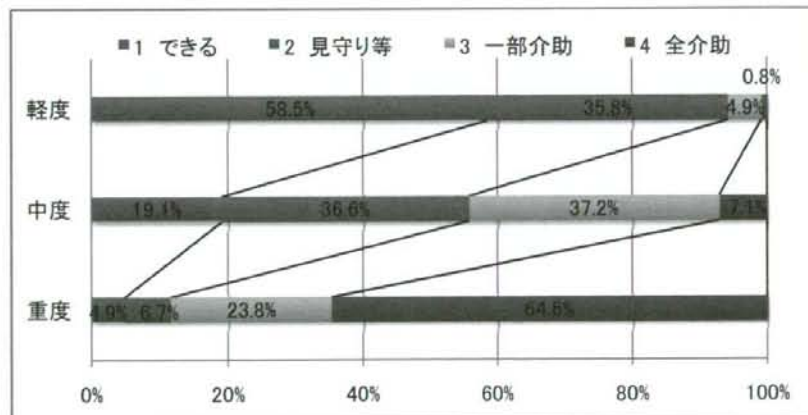


図 6-20 移動

3) 複雑な動作等関連

軽度と中度、中度と重度、軽度と重度のいずれの群間においても、軽度から中度、中度から重度というように自立度の割合が低下する状況が見られ、すべての群の間に有意な差があることが示された。

表 6-12 要介護度区分別移動等関連項目の回答傾向

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
立ち上がり	1 つかまらないでできる	13	10.7%	11	6.0%	5	3.0%	**	**	**
	2 何かにつかまればできる	108	88.5%	157	85.3%	50	30.5%			
	3 できない	1	0.8%	16	8.7%	109	66.5%			
片足立位保持	1 支えなしでできる	16	13.0%	9	4.9%	4	2.4%	**	**	**
	2 何か支えがあればできる	95	77.2%	100	54.3%	24	14.6%			
	3 できない	12	9.8%	75	40.8%	136	82.9%			
洗身	1 できる	41	33.3%	11	6.0%	0	0.0%	**	**	**
	2 一部介助	72	58.5%	106	57.6%	21	12.8%			
	3 全介助	10	8.1%	63	34.2%	134	81.7%			
	4 行っていない	0	0.0%	4	2.2%	9	5.5%			

** P<0.01 * P<0.05

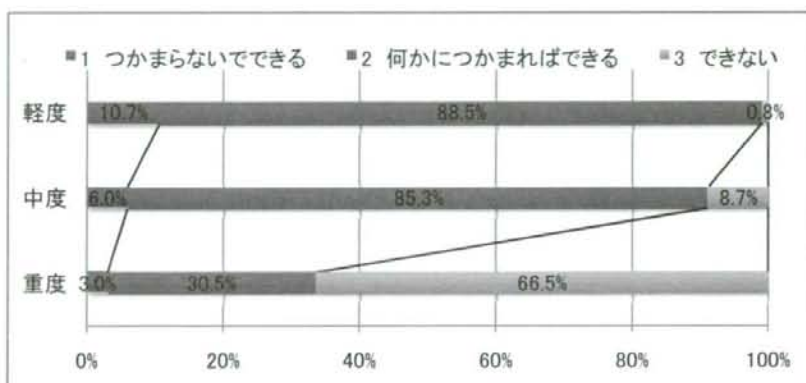


図 6-21 立ち上がり

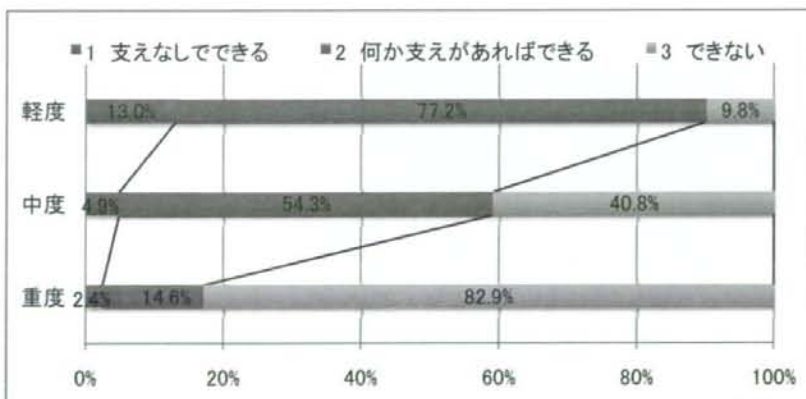


図 6-22 片足立位保持

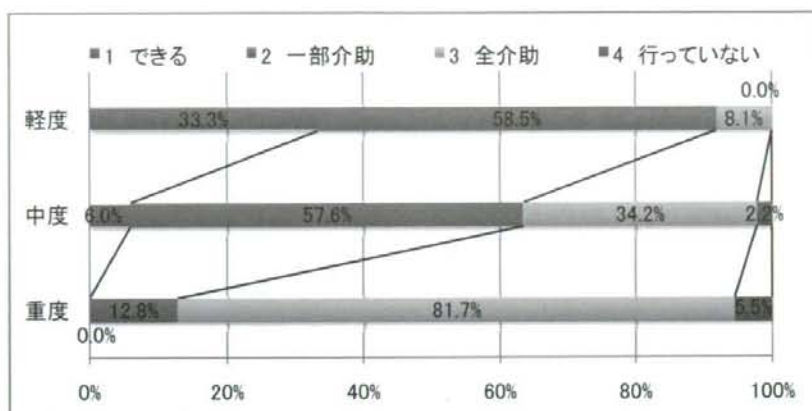


図 6-23 洗身

4) 特別な介護等関連

要介護度区分別の特別な介護等関連項目の回答傾向については、「じょくそう」と「皮膚疾患」においては軽度と重度、中度と重度においてのみ有意差が示されたが、軽度と中度の間には、有意差が認められなかった。その他の項目についてはすべての群間において、有意差があり、えん下、食事摂取、飲水、排尿、排便すべてにおいて、軽度、中度、重度と介助の割合が高くなることが示された。

表 6-13 要介護度区分別特別な介護等関連項目の回答傾向

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
じょくそう	1 ない	117	98.3%	174	95.6%	135	82.6%			**
	2 ある	2	1.7%	8	4.4%	28	17.2%			**
皮膚疾患	1 ない	92	77.3%	129	70.9%	89	54.9%			**
	2 ある	27	22.7%	53	29.1%	73	45.1%			**
えん下	1 できる	104	84.6%	138	75.8%	45	28.0%			**
	2 見守り等	19	15.4%	44	24.2%	89	55.3%			**
	3 できない	0	0.0%	0	0.0%	27	16.8%			**
食事摂取	1 できる	103	83.7%	106	57.6%	22	13.4%	**	**	**
	2 見守り等	19	15.4%	57	31.0%	32	19.5%			
	3 一部介助	1	0.8%	20	10.9%	42	25.6%			
	4 全介助	0	0.0%	1	0.5%	68	41.5%			
飲水	1 できる	99	80.5%	88	47.8%	18	11.0%	**	**	**
	2 見守り等	18	14.6%	69	37.5%	41	25.0%			
	3 一部介助	6	4.9%	27	14.7%	42	25.6%			
	4 全介助	0	0.0%	0	0.0%	63	38.4%			
排尿	1 できる	82	67.2%	38	20.8%	6	3.7%	**	**	**
	2 見守り等	23	18.9%	40	21.9%	6	3.7%			
	3 一部介助	16	13.1%	83	45.4%	18	11.0%			
	4 全介助	1	0.8%	22	12.0%	134	81.7%			
排便	1 できる	87	71.3%	45	24.6%	5	3.0%	**	**	**
	2 見守り等	18	14.8%	41	22.4%	5	3.0%			
	3 一部介助	16	13.1%	70	38.3%	16	9.8%			
	4 全介助	1	0.8%	27	14.8%	138	84.1%			

** P<0.01 * P<0.05

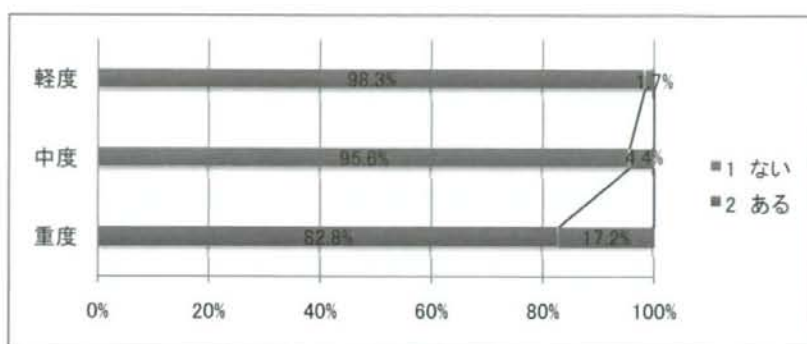


図 6-24 じよくそう

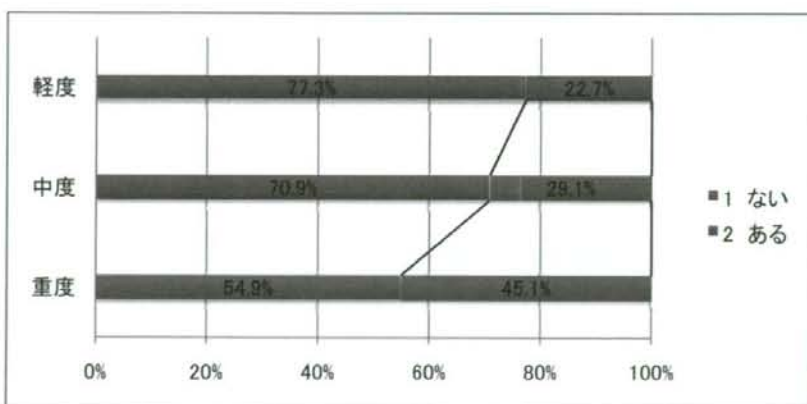


図 6-25 皮膚疾患

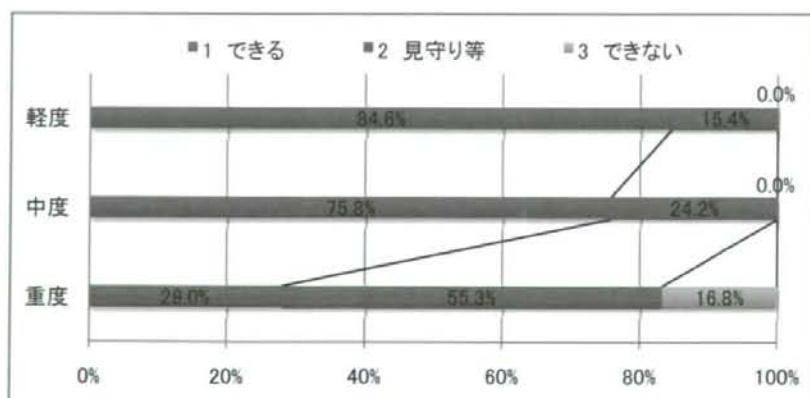


図 6-26 えん下

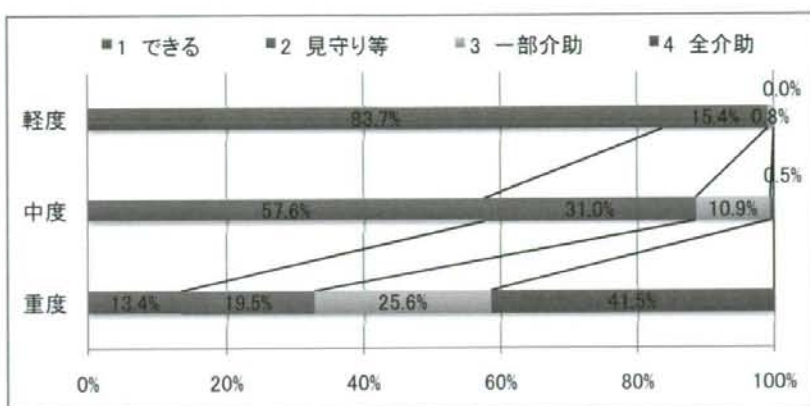


図 6-27 食事摂取

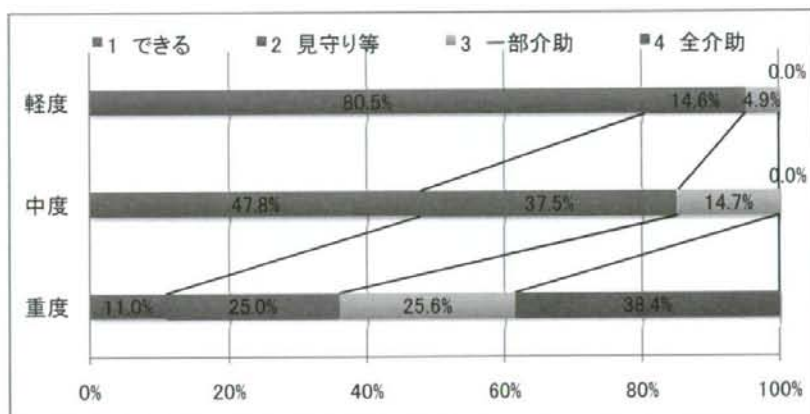


図 6-28 飲水

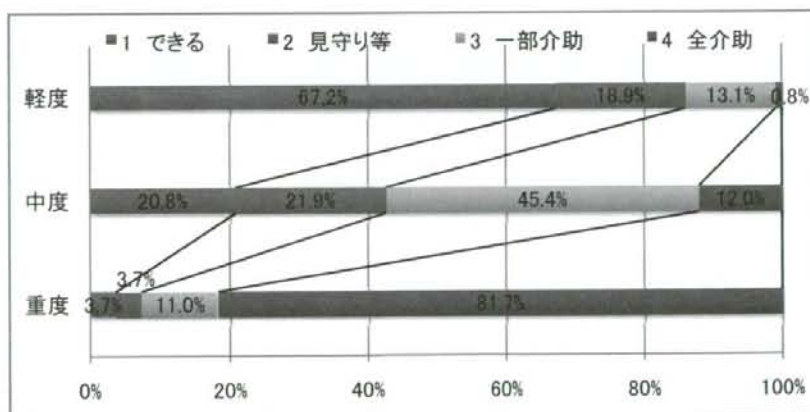


図 6-29 排尿

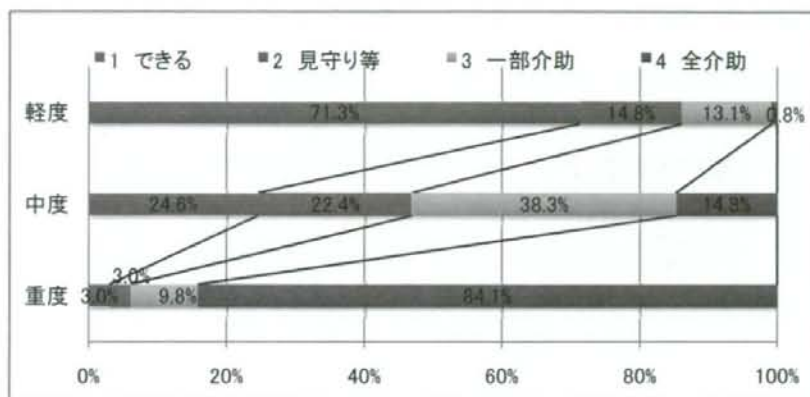


図 6-30 排便

5) 身の回りの世話等関連

要介護度区別別に、身の回りの世話等関連項目の回答を分析した結果から、軽度と中度、中度と重度、軽度と重度と全介助の割合が高くなることが示され、いずれの群間においても有意差が認められた。

表 6-14 要介護度別身の回りの世話等に関連する項目の回答傾向

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
口腔清潔	1 できる	16,384	96.4%	3,450	50.7%	70	3.5%	**	**	**
	2 一部介助	597	3.5%	3,164	46.5%	1,089	53.7%			
	3 全介助	7	0.0%	195	2.9%	869	42.9%			
洗髪	1 できる	16,500	97.1%	3,708	54.5%	82	4.0%	**	**	**
	2 一部介助	476	2.8%	2,795	41.0%	852	42.0%			
	3 全介助	12	0.1%	306	4.5%	1,093	53.9%			
髪型	1 できる	16,590	97.6%	4,354	63.9%	201	9.9%	**	**	**
	2 一部介助	345	2.0%	1,834	26.9%	584	28.8%			
	3 全介助	63	0.4%	621	9.1%	1,242	61.3%			
つめ切り	1 できる	9,270	54.6%	838	12.3%	16	0.6%	**	**	**
	2 一部介助	4,560	26.8%	1,404	20.6%	73	3.6%			
	3 全介助	3,158	18.6%	4,567	67.1%	1,938	95.6%			
上衣の着脱	1 できる	14,757	86.9%	1,602	23.5%	6	0.3%	**	**	**
	2 見守り等	828	4.9%	1,127	16.6%	46	2.3%			
	3 一部介助	1,395	8.2%	3,837	56.4%	1,021	50.4%			
	4 全介助	8	0.0%	243	3.6%	954	47.1%			
スボン等着脱	1 できる	14,932	87.9%	1,412	20.7%	2	0.1%	**	**	**
	2 見守り等	876	5.2%	1,071	15.7%	34	1.7%			
	3 一部介助	1,173	6.9%	3,860	56.7%	685	33.8%			
	4 全介助	7	0.0%	466	6.8%	1,306	64.4%			
着の内履	1 できる	10,736	63.2%	1,007	14.8%	35	1.7%	**	**	**
	2 一部介助	6,229	36.7%	5,558	81.6%	1,145	56.5%			
	3 全介助	23	0.1%	244	3.6%	847	41.8%			
金銭の管理	1 できる	10,797	63.6%	1,308	19.2%	127	6.3%	**	**	**
	2 一部介助	5,215	30.7%	2,848	41.8%	394	19.4%			
	3 全介助	976	5.7%	2,653	39.0%	1,506	74.3%			
電話の利用	1 できる	9,966	58.7%	1,225	18.0%	95	4.7%	**	**	**
	2 一部介助	5,996	35.3%	3,510	51.5%	601	29.6%			
	3 全介助	1,026	6.0%	2,074	30.5%	1,331	65.7%			
日常の意思決定	1 できる	10,414	61.3%	1,718	25.2%	226	11.1%	**	**	**
	2 特別な場合を除いてできる	5,695	33.5%	2,925	43.0%	547	27.0%			
	3 日常的に困難	876	5.2%	2,120	31.1%	1,007	49.7%			
	4 できない	3	0.0%	46	0.7%	247	12.2%			

** P<0.01 * P<0.05

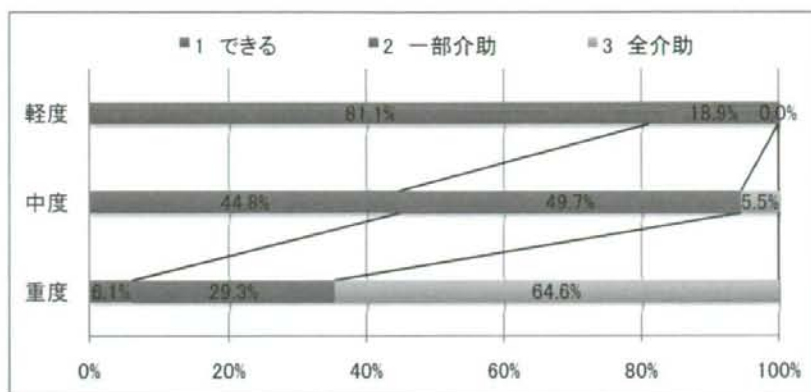


図 6-31 口腔清潔

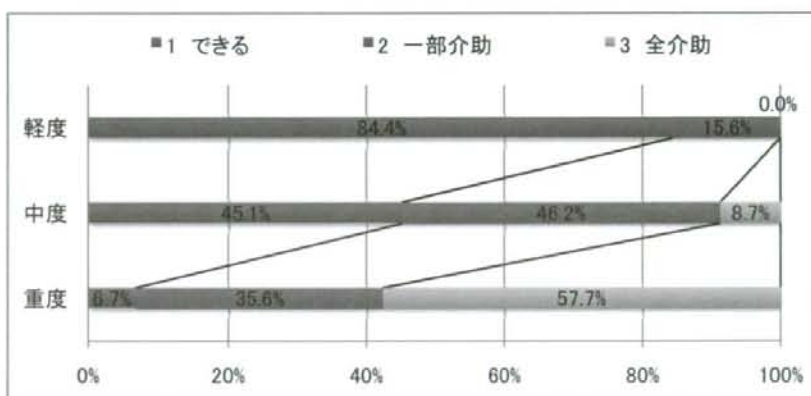


図 6-32 洗顔

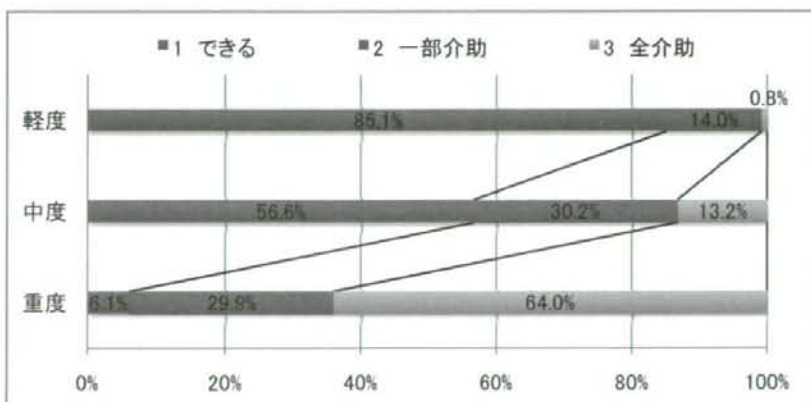


図 6-33 整髪

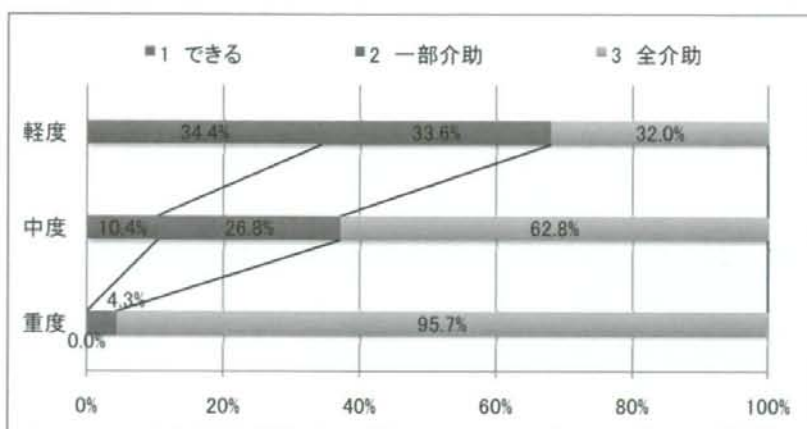


図 6-34 つめ切り

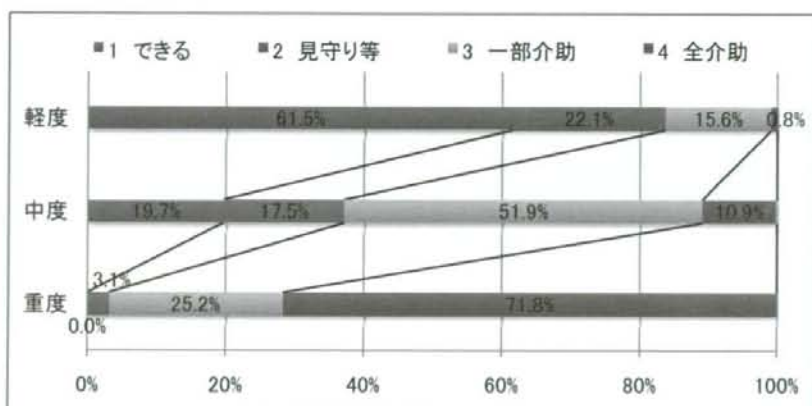


図 6-35 上衣の着脱

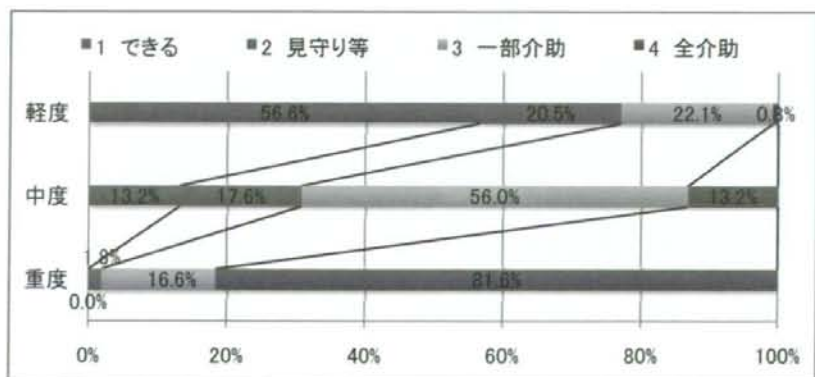


図 6-36 ズボン等着脱

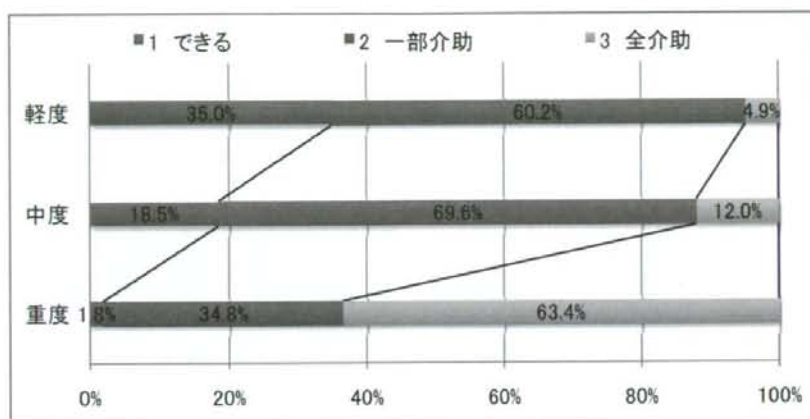


図 6-37 薬の内服

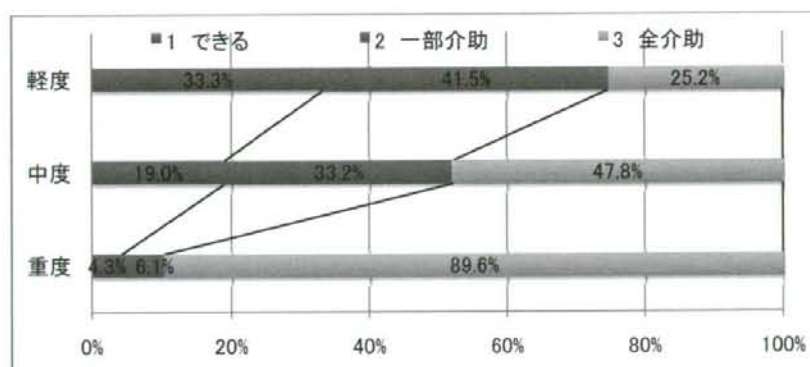


図 6-38 金銭の管理

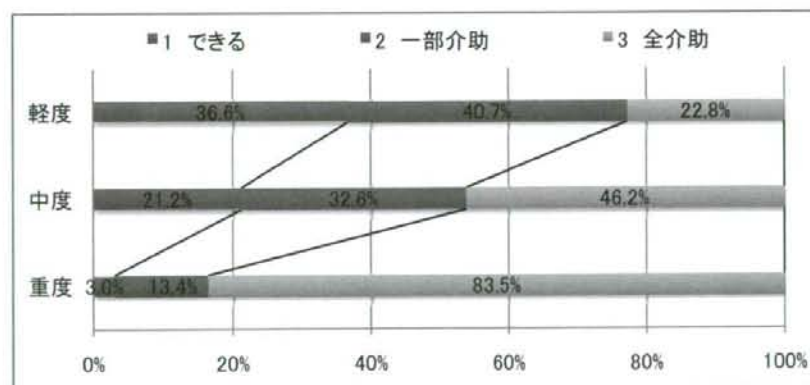


図 6-39 電話の利用

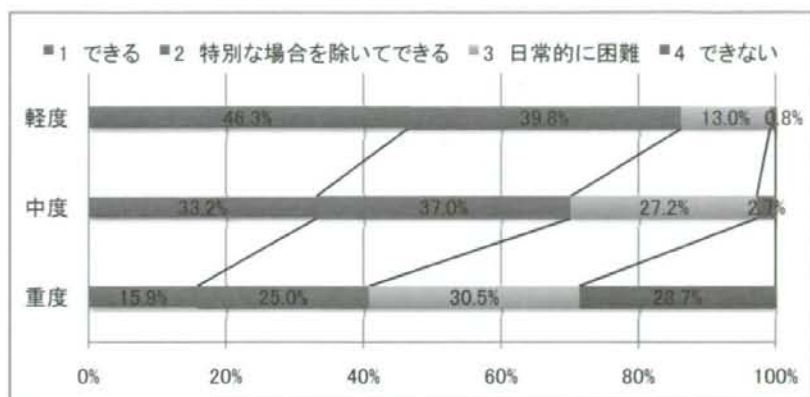


図 6-40 日常の意思決定

6) コミュニケーション等関連項目の回答傾向

要介護度区分別にコミュニケーション等関連項目の「意志の伝達」、「指示への反応」、「毎日の日課の理解」、「生年月日を覚える」の4項目は、軽度と中度、中度と重度、軽度と重度のすべての群間において、有意差があった。

「視力」、「直前を思い出す」、「名前を答える」、「今の季節を理解」、「場所を答える」の5項目は、中度と重度、軽度と重度にのみ有意差が見られた。「聴力」については、中度と重度の間のみだけに有意差がみられた。

表 6-15 コミュニケーション等関連項目の回答傾向

		要介護度区分						P値	軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		軽度		中度		重度					
		N	%	N	%	N	%				
視力	1 普通	95	77.2%	131	71.2%	81	49.4%		**	**	
	2 約1m離れた視力確認票の図が見える	24	19.5%	44	23.9%	36	22.0%				
	3 目の前に置いた視力確認票の図が見える	3	2.4%	9	4.9%	18	11.0%				
	4 ほとんど見えない	1	0.8%	0	0.0%	8	4.9%				
	5 見えているのか判断不能	0	0.0%	0	0.0%	21	12.8%				
聴力	1 普通	63	51.2%	109	59.2%	83	50.6%		*		
	2 普通の声がやっと聞こえる	34	27.6%	41	22.3%	31	18.9%				
	3 かなり大きな声なら何とか聞こえる	24	19.5%	33	17.9%	35	21.3%				
	4 ほとんど聞こえない	2	1.6%	1	0.5%	1	0.6%				
	5 聞こえているのか判断不能	0	0.0%	0	0.0%	14	8.5%				
意志の伝達	1 伝達できる	99	80.5%	120	65.2%	54	32.9%	**	**	**	
	2 ときどき伝達できる	23	18.7%	91	27.7%	83	32.3%				
	3 ほとんど伝達できない	1	0.8%	13	7.1%	35	21.3%				
	4 できない	0	0.0%	0	0.0%	22	13.4%				
指示への反応	1 指示が通じる	99	81.1%	119	65.0%	64	39.5%	**	**	**	
	2 指示がときどき通じる	22	18.0%	62	33.9%	70	43.2%				
	3 指示が通じない	1	0.8%	2	1.1%	28	17.3%				
毎日の日課を理解	1 できる	91	74.6%	102	56.4%	53	32.3%	**	**	**	
	2 できない	31	25.4%	82	44.6%	111	67.7%				
生年月日を覚える	1 できる	113	92.6%	149	81.0%	92	56.1%	**	**	**	
	2 できない	9	7.4%	35	19.0%	72	43.9%				
直前を思い出す	1 できる	88	72.1%	117	63.6%	61	37.2%	**	**	**	
	2 できない	34	27.9%	67	36.4%	103	62.8%				
名前を答える	1 できる	120	96.4%	180	96.4%	115	70.1%	**	**	**	
	2 できない	2	1.6%	3	1.6%	49	29.9%				
今の季節を理解	1 できる	97	79.5%	129	70.1%	74	45.4%	**	**	**	
	2 できない	25	20.5%	55	29.9%	89	54.6%				
場所を答える	1 できる	116	95.1%	156	84.8%	90	55.2%	**	**	**	
	2 できない	6	4.9%	28	15.2%	73	44.8%				

** P<0.01 * P<0.05

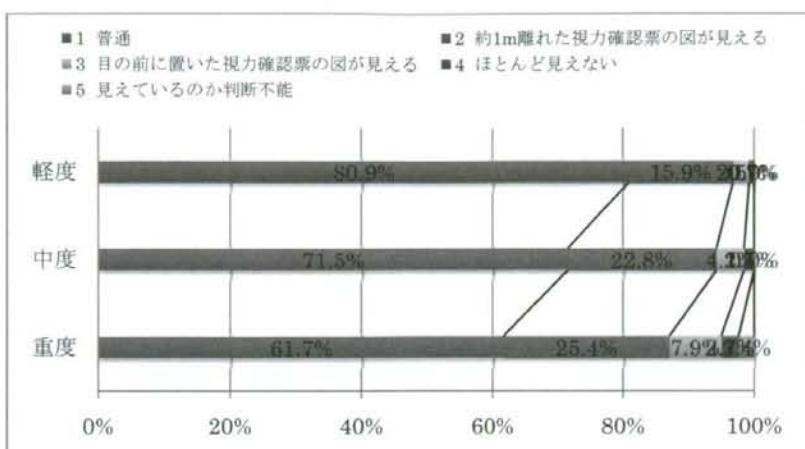


図 6-41 視力

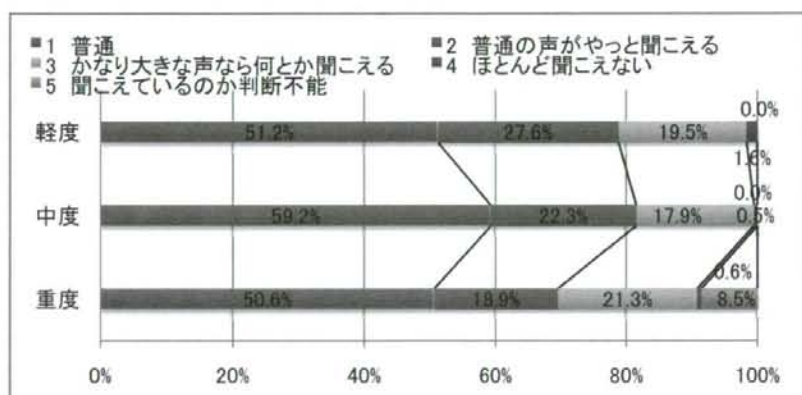


図 6-42 聴力

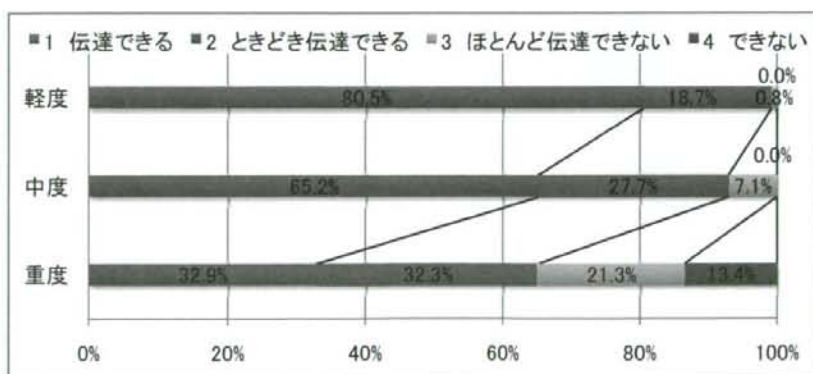


図 6-43 意思の伝達

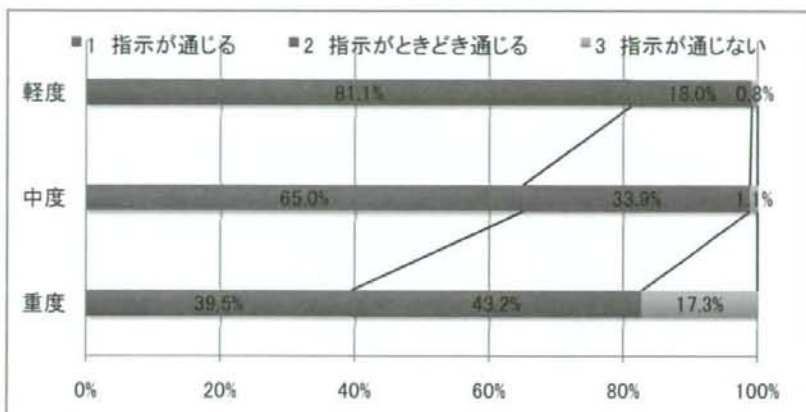


図 6-44 指示への反応

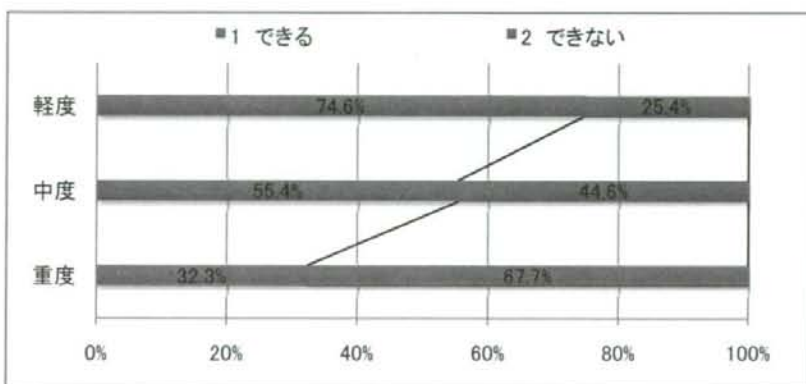


図 6-45 毎日の日課を理解

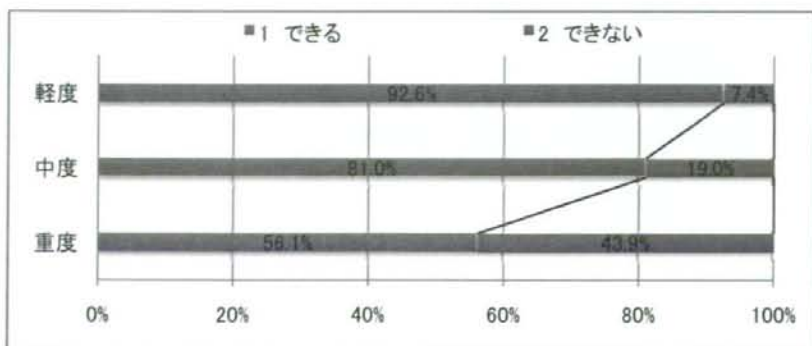


図 6-46 生年月日を答える

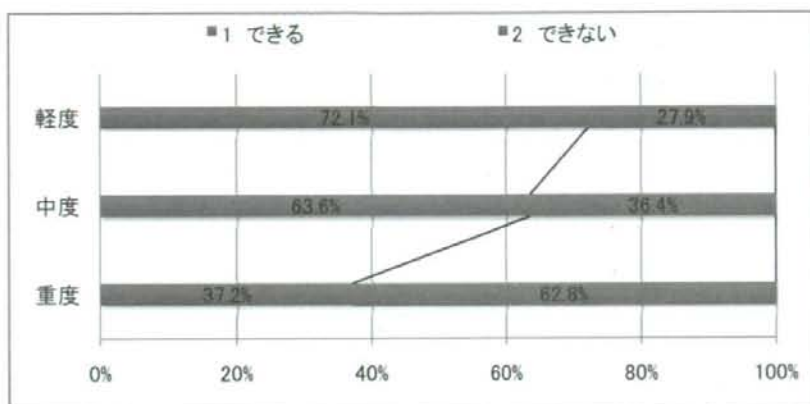


図 6-47 直前を思い出す

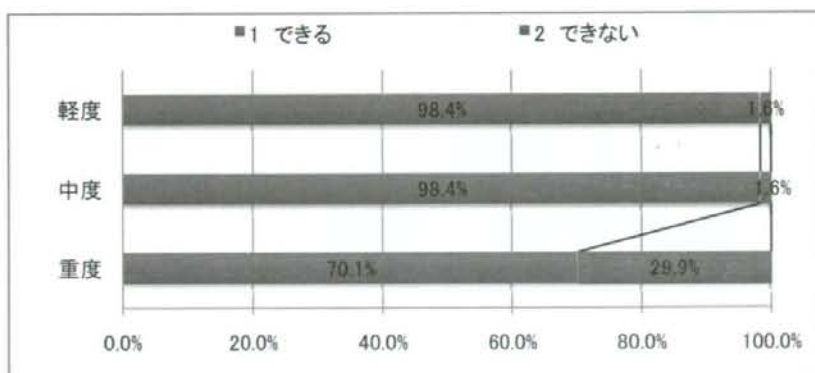


図 6-48 名前を答える

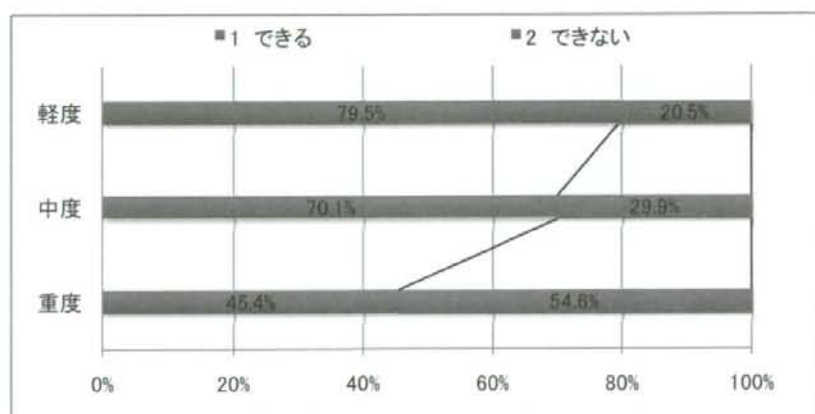


図 6-49 今の季節を理解

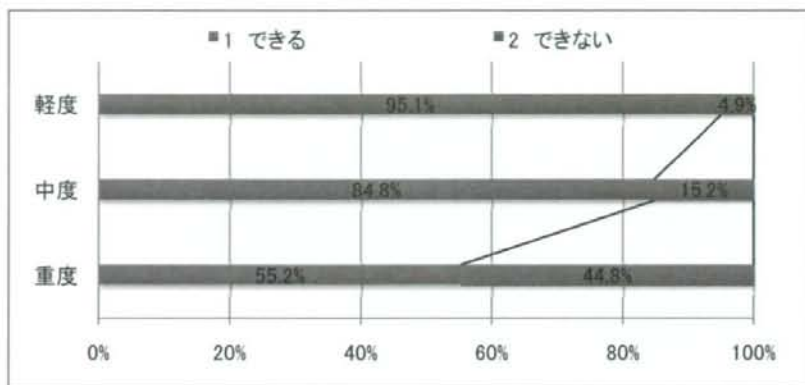


図 6-50 場所を答える

7) B P S D 関連項目

軽度、中度、重度と各群のすべてで有意な差がある行動の発現はなかった。また、軽度、中度、重度と有意に問題となる行動が増加する傾向がみられた行動はなかった。

このことは、モデル事業の対象となった高齢者の群においては、表 6-16 に示したように、「昼夜逆転」、「感情が不安定」、「介護に抵抗」、「幻視・幻聴」、「大声を出す」、「暴言や暴行」、「落ち着きが無い」、「目的無く動き回る」、「目が離せない」、「不潔な行為」、「異食行動」、「無断で収集」、「物や衣服の破壊」といったほとんどの項目において、重度化するにしがって B P S D の割合が増えていた状況と異なった特徴を示していた。また、在宅のタイムスタディ調査の対象者群では、いわゆる中度の高齢者の B P S D の発現率が高かった。

軽度と中度、軽度と重度に有意差が見られたのは、「幻視・幻聴」、「昼夜逆転」であった。軽度と中度、中度と重度に有意差が見られたのは、「目が離せない」であった。

軽度と中度にのみ有意差が見られたのは、「暴言暴行」「無断で収集」であった。中度と重度のみには、「被害的」、「同じ話や不快な音」、軽度と重度のみには、「物や衣服の破壊」、「異食行動」であった。

その他の多くの B P S D の項目に、いずれも有意な差は見られず、今回の在宅のタイムスタディの調査対象となった高齢者においては、軽度、中度、重度に関わらず、多様な B P S D が発生している集団であったと推察された。

表 6-16 B P S D 関連項目の回答傾向

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
被害的	1 ない	111	90.2%	152	82.8%	149	90.9%		*	
	2 ととききある	7	5.7%	21	11.4%	7	4.3%			
	3 ある	5	4.1%	11	6.0%	8	4.9%			
作話	1 ない	106	86.2%	160	87.0%	148	90.8%			
	2 ととききある	9	7.3%	12	6.5%	3	1.8%			
	3 ある	8	6.5%	12	6.5%	12	7.4%			
幻視・幻聴	1 ない	116	94.3%	150	81.5%	129	79.1%	**		**
	2 ととききある	3	2.4%	21	11.4%	17	10.4%			
	3 ある	4	3.3%	13	7.1%	17	10.4%			
感情が不安定	1 ない	92	75.4%	131	71.6%	119	73.5%			
	2 ととききある	19	15.8%	32	17.5%	22	13.8%			
	3 ある	11	9.0%	20	10.9%	21	13.0%			
昼夜逆転	1 ない	105	85.4%	131	71.2%	116	71.6%	**		**
	2 ととききある	12	9.8%	31	16.8%	23	14.2%			
	3 ある	6	4.9%	22	12.0%	23	14.2%			
暴言や暴行	1 ない	114	93.4%	150	81.5%	141	87.0%	**		
	2 ととききある	5	4.1%	23	12.5%	9	5.6%			
	3 ある	3	2.5%	11	6.0%	12	7.4%			
同じ話や不快な音	1 ない	95	77.2%	130	70.7%	132	81.0%		*	
	2 ととききある	9	7.3%	19	10.3%	9	5.5%			
	3 ある	19	15.4%	35	19.0%	22	13.5%			
大声を出す	1 ない	111	90.2%	157	85.8%	136	83.4%			
	2 ととききある	7	5.7%	16	8.7%	17	10.4%			
	3 ある	5	4.1%	10	5.5%	10	6.1%			
介護に抵抗	1 ない	94	76.4%	125	68.3%	114	70.4%			
	2 ととききある	18	14.6%	36	19.7%	27	16.7%			
	3 ある	11	8.9%	22	12.0%	21	13.0%			
目的無く動き回る	1 ない	111	90.2%	157	85.3%	150	92.0%			
	2 ととききある	8	6.5%	14	7.6%	4	2.5%			
	3 ある	4	3.3%	13	7.1%	9	5.5%			
床に着きが無い	1 ない	115	93.5%	157	86.3%	144	88.3%			
	2 ととききある	5	4.1%	13	7.1%	10	6.1%			
	3 ある	3	2.4%	12	6.6%	9	5.5%			
1人で居れない	1 ない	110	89.4%	150	81.5%	143	87.7%			
	2 ととききある	10	8.1%	12	6.5%	4	2.5%			
	3 ある	3	2.4%	22	12.0%	16	9.8%			
目が醒せない	1 ない	118	95.9%	150	81.5%	151	92.6%	**	**	
	2 ととききある	3	2.4%	17	9.2%	3	1.8%			
	3 ある	2	1.6%	17	9.2%	9	5.5%			
無断で収集	1 ない	121	98.4%	169	91.8%	157	96.3%	*		
	2 ととききある	1	0.8%	6	3.3%	3	1.8%			
	3 ある	1	0.8%	9	4.9%	3	1.8%			
火元の管理	1 ない	108	87.8%	162	88.5%	151	92.6%			
	2 ととききある	10	8.1%	7	3.8%	3	1.8%			
	3 ある	5	4.1%	14	7.7%	9	5.5%			
物や衣服の破壊	1 ない	122	99.2%	178	96.7%	153	93.9%			*
	2 ととききある	0	0.0%	5	2.7%	3	1.8%			
	3 ある	1	0.8%	1	0.5%	7	4.3%			
不潔な行為	1 ない	120	97.6%	175	95.1%	153	94.4%			
	2 ととききある	3	2.4%	5	2.7%	6	3.7%			
	3 ある	0	0.0%	4	2.2%	3	1.9%			
真直行動	1 ない	122	99.2%	176	95.7%	153	93.9%			*
	2 ととききある	0	0.0%	6	3.3%	5	3.1%			
	3 ある	1	0.8%	2	1.1%	5	3.1%			
ひどい物忘れ	1 ない	58	47.5%	68	37.0%	75	46.9%			
	2 ととききある	24	19.7%	39	21.2%	25	15.6%			
	3 ある	40	32.8%	77	41.8%	60	37.5%			

** P<0.01 * <0.05

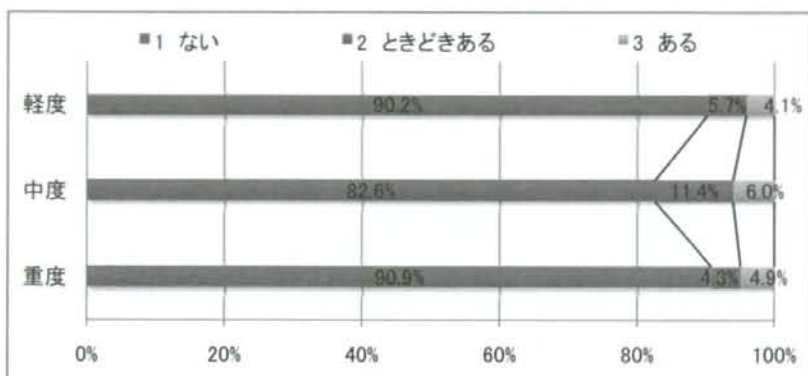


図 6-51 被害的

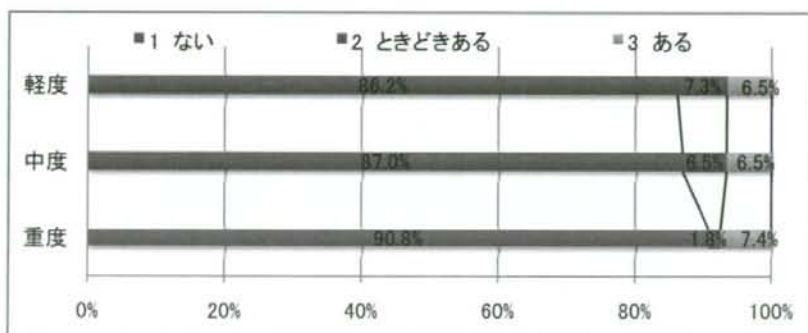


図 6-52 作話

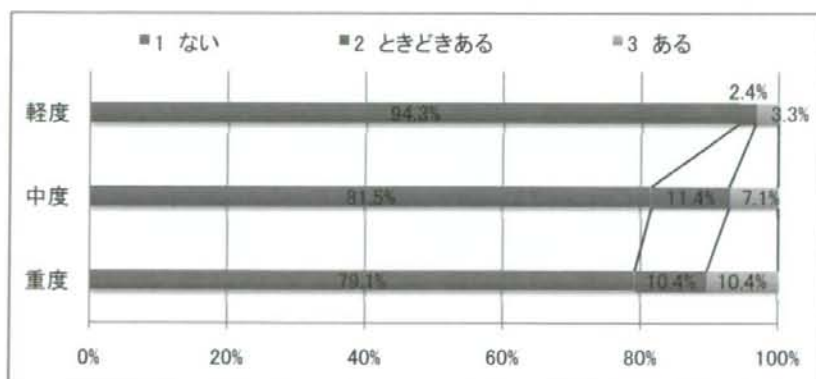


図 6-53 幻視・幻聴

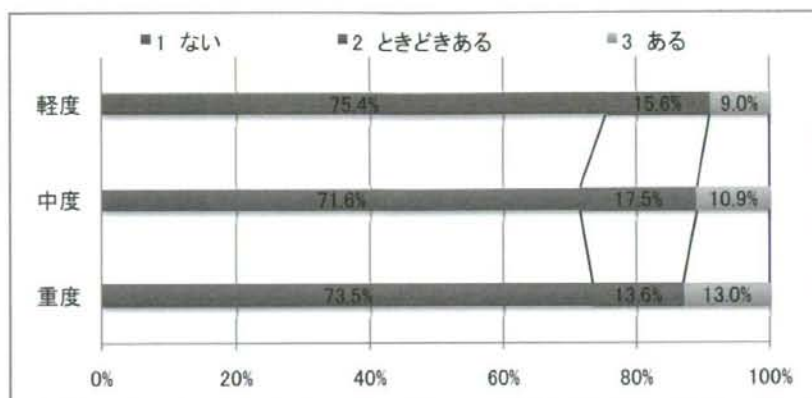


図 6-54 感情が不安定

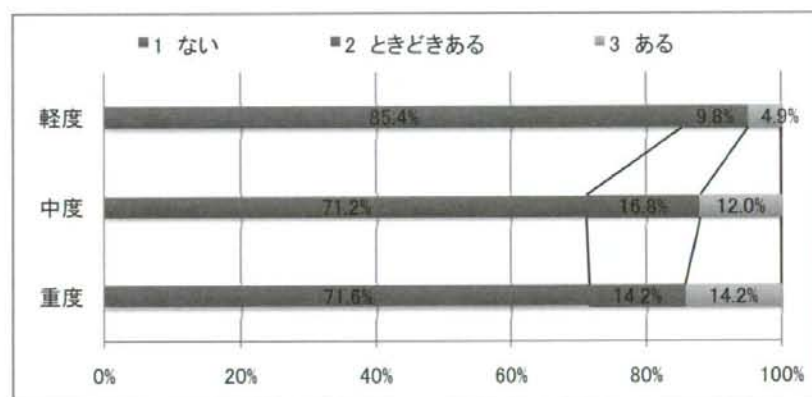


図 6-55 昼夜逆転

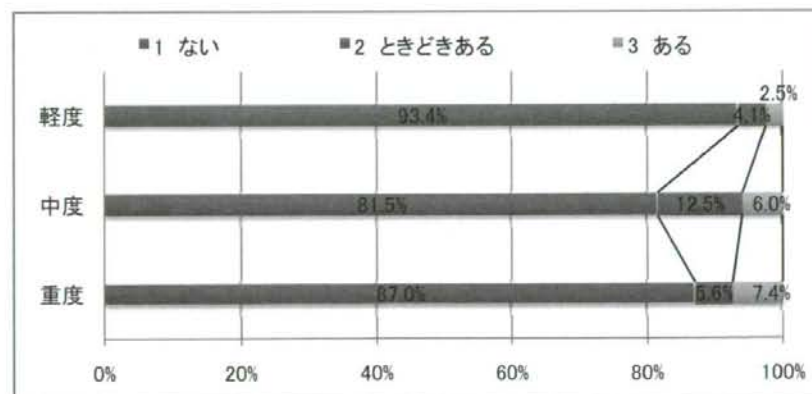


図 6-56 暴言や暴行